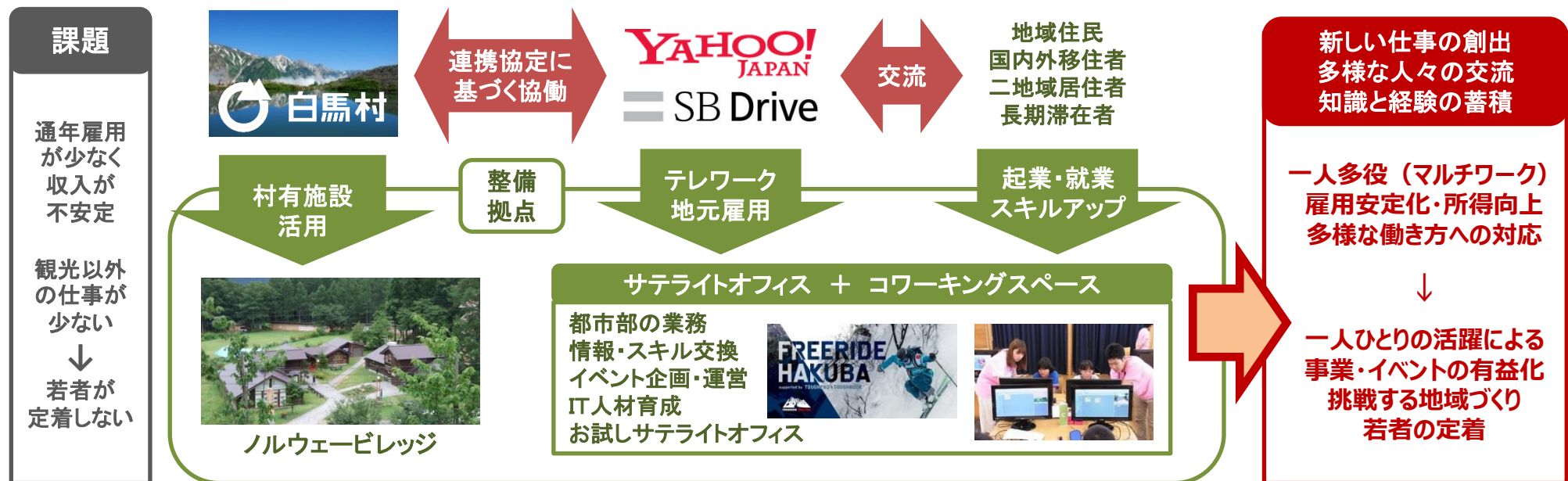


# 国際山岳観光資源×テレワークによる「しごとづくり・ひとづくりプロジェクト」 白馬村（長野県白馬村）

コンソーシアム名	白馬村ふるさとテレワークコンソーシアム				
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	白馬村、ヤフー株式会社、SBドライブ株式会社、長野県				
地方移動者数	従業員：2名以上	個人：—	地元ワーカー数	従業員：10名以上	個人：20名以上
事業概要	<p>長野五輪後にノルウェーから譲り受けた村有施設を活用し、整備した拠点において連携協定を締結しているヤフー株式会社等の社員がテレワーカーとして都市部の業務を行うとともに、地元ワーカーを雇用することで、地域に望まれる安定した通年雇用及び観光閑散期に人的資源を活用する「一人多役（マルチワーク）」に対応できるフレキシブルなパートタイムワークを創出する。</p> <p>同時にフリーランスの移住者や長期滞在のテレワーカーが利用できるコワーキングスペースを整備し、国内外からの来訪者と住民との交流の場とする。また、拠点利用者が地域の子ども～大人にIT教育を行うとともに、連携協定を締結している信州大学や白馬高校との協働拠点とすることで、観光活性にも資するIT人材育成及び若者の地域への定着を推進する。</p> <p>本事業により、観光偏重となっている地域の雇用に関する課題を解決し、それぞれのライフスタイルに合ったしごと環境を確保して一人ひとりが輝く地域を創出するとともに、多様な人々の交流から知識と経験を蓄積することで地域の活力を創出する。</p>				



# 国際山岳観光資源×テレワークによる「しごとづくり・ひとづくりプロジェクト」 白馬村（長野県白馬村）

## ■整備した拠点の概要

- 名 称：ヤフー白馬ベース
- 住 所：長野県北安曇郡白馬村大字北城3476番地（白馬ジャンプ競技場前！）
- 利用対象者：コンソーシアム構成企業、村内外の企業、地域住民、二地域居住者、  
長期滞在者、観光客等（＝誰でもOK！）
- 収容人数：サテライトオフィス10名、コワーキングスペース22名、ミーティングルーム4名
- 可能業務：パソコン業務全般、オンライン・オフラインミーティング、各種イベント
- 整備概要：オフィス什器（テーブル、チェア、キャビネット、本棚）  
オフィス環境（エアコン、照明、電子鍵）  
事務機器（PC、ソフトウェア、プリンタ、プロジェクター、スクリーン）  
インターネット環境（光回線、Wi-Fi設備）
- \* Webサイト：近日リリース予定！



## ■整備完了後の取組内容の概要

ヤフー株式会社から2名の社員が移住し、施設を村から借受けて運営を行う。  
サテライトオフィスでは白馬村のふるさと納税の返礼業務を受託し、地元住民を雇用して、発送業務に加えて特産品のブランディングや生産者の業務改善サポート、観光コンテンツの情報発信等を行い、業務範囲の拡大を目指す。  
コワーキングスペースは、コンソーシアム構成企業の社員だけでなく、村内の起業家や二地域居住・長期滞在のテレワーカーが気軽に利用できるよう無料で開放し、多様な交流と新たな事業の創出の場とする。  
整備したコワーキングスペースのうち1室はイベント利用も想定し、大型のスクリーン等を整備した。生徒を全国から募集している白馬高校国際観光科の生徒や県内外の大学生、社会人が多様なイベントに参加することで、学びの場としての価値も高め、地域に資する人材育成を推進する。  
コンソーシアム構成企業・団体において積極的に情報発信するとともに、白馬村は移住セミナー等でも広く利用者を募る。また、試験的なテレワークや企業合宿の誘致等により、敷地内の未利用棟や他の公共施設へのサテライトオフィス誘致を推進する。

利用者数（累計）	H30	H31	H32
地方移動者（移住）	1名	1名	1名
地方移動者（長期派遣）	1名	2名	2名
地元雇用者	8名	10名	14名
個人（村内）*月平均	20名	20名	25名
個人（村外）*月平均	12名	14名	16名

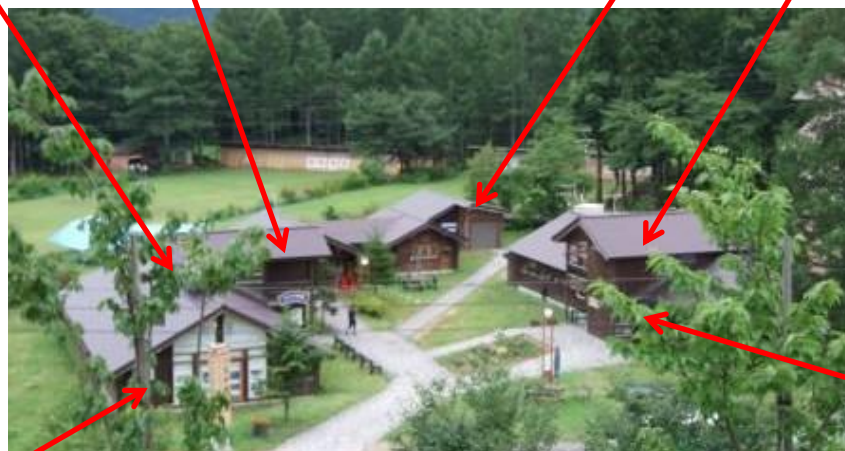
# (参考①) 整備した拠点について



2 F  
ミーティングルーム  
(オンライン・オフライン)



1 F  
ワーキングスペース 2  
(イベント対応可)



————— Yahoo! HAKUBA BASE —————

シェアオフィス①  
(入居済)

シェアオフィス②  
(空室!)



2 F  
サテライトオフィス  
(ヤフー株式会社)



1 F  
ワーキングスペース 1



# (参考②) 整備完了後の取組内容について

## ■しごとづくり

日本有数の山岳景観を誇る白馬村には、国内外の多様な人々が来訪・居住する場所である。

観光閑散期に仕事が少なく、安定した通年雇用が少ないという観光地共通の地域課題の解決や、主婦層やシニア層の未活用人材の活用を目的に、テレワークを活用することでIT人材を育成しながら、柔軟性のある「一人多役（マルチワーク）」のライフスタイルを実現する。

拠点を整備して都市部から社員が移住し、地域事業者と協働で取組みを進めることで、人が集う循環を生み出すとともに、企業合宿や組織活性化、イノベティブな製品開発など、幅広く実施機会を増やし、創造の拠点となる施策に取り組む。

また、外国人が多いという地域の多様性を活かし、二地域居住や観光を伴う長期滞在も含めた国内外のワーカーが集い、知識や経験を交換する場とすることで、地方創生の拠点施設となることを目指す。

＜具体的な業務＞

ふるさと納税返礼業務、地域産品ブランディング・販路拡大（EC）、ローカルメディア運営による地域の魅力発信、イベント企画・運営、調査・解析、開発、デザイン、Web制作、IT人材育成、クラウドソーシング受託等

利用者数（累計）	H30	H31	H32
地方移動者（移住）	1名	1名	1名
地方移動者（長期派遣）	1名	2名	2名
地元雇用者	8名	10名	14名
個人（村内）*月平均	20名	20名	25名
個人（村外）*月平均	12名	14名	16名

# (参考②) 整備完了後の取組内容について

## ■ ひとつづくり

子どもから大人まで、国内外の多様な人材の交流機会を創出し、地域に資する人材を育成する。



白馬高校公営塾「しろま学舎」プロジェクト学習  
～輝☆ラボ～ 信州大学×慶應SDM×Yahoo!JAPAN



Yahoo!JAPANによる小学生向けプログラミング教室  
Hack Kids Caravan in Hakuba



白馬村の暮らしを伝える動画  
～A Day in the Hakuba Life～ 上映会



Yahoo!トラベルによる白馬高校国際観光科特別授業  
～地元宿泊施設で宿泊プランを作って売ってみよう～